

病院と地域、患者さんをつなぐ“広報力”を磨く

第14回医療機関広報フォーラム

<開催概要>

日時 2018（平成30）年3月23日（金） 13:00～17:00
 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟417号室
 （東京都渋谷区代々木神園町3番1号）
 対象 医療専門職・事務職・看護職など、職種を問わず広報に関心のある医療機関従事者
 定員 100人
 主催 公益社団法人日本広報協会
 後援（予定） 厚生労働省、（公社）日本医師会、（公社）日本看護協会、（一社）日本病院会、（公社）全日本病院協会、
 （一社）日本医療法人協会、（公社）日本精神科病院協会、（公社）全国自治体病院協議会、
 （一社）日本精神科看護技術協会
 参加費 8,000円（税込み） ※日本広報協会会員は5,000円（税込み）

<プログラム>

13:00～13:30

講義 1

知っておきたい 改正医療法に基づく新たな医療広告規制

講師：厚生労働省医政局総務課

医療法の改正により、従来の「医療広告ガイドライン」「医療機関ホームページガイドライン」が廃止され、今年6月から、医療機関のウェブサイト等も規制の対象とした新たな「医療広告ガイドライン」が運用される予定です。規制内容がどのように変更になるのかを解説します。

13:40～15:10

講義 2

相手に伝わる文章作成術 ～患者に客観的で正確な情報を分かりやすく伝えるために

講師：小田 順子／広報コンサルタント・日本広報協会広報アドバイザー

医療は人の生命や健康に関わるサービスであり、患者が適切に医療を選択できるよう、医療機関は客観的・正確な情報を分かりやすく伝えることが責務とされています。難しい用語の多い医療機関の情報は、相手が理解しやすい言葉や文章にしなければ伝わりません。相手に伝わる分かりやすい文章の書き方を解説します。

■プロフィール

東京・中野区役所勤務を経て、広報コンサルタントとして独立。大企業や行政、公益団体など公益性の高い組織を支援している。著書に『公務員のSNS・文章術』など。

15:20～17:00

講義 3

広報誌をワンランクアップ！ ～もっと読まれるための編集・デザインのポイントとクリニック

講師：荒尾 彩子／株式会社コンセント コンテンツディレクター、筒井 美希／同 アートディレクター

どうすればもっと読まれる広報誌になるのか、編集やデザインをワンランクアップするためのヒントを学びます。また、講義の中では、実際の医療機関広報誌（※）を取り上げて、公開クリニックを行います。

※参加医療機関の広報誌を取り上げさせていただきます。クリニックをご希望の方は、事務局宛に広報誌を2月9日必着でお送りください。その際には必ず「どんな方に向けて、どういう意図で、どんなことを心がけて作っているか」が分かるコメントを添えてお出しください。なお、講義時間の都合で、すべての広報誌をクリニックできない場合がございます。ご了承ください。

■プロフィール

荒尾彩子：コンテンツ戦略提案と表現方法の両面からの課題解決力を活かし、医薬品・自動車業界や研究開発・教育機関などのコミュニケーションメディアの編集デザインを手がける。

筒井美希：エディトリアル、グラフィック、ウェブ、映像など、幅広いジャンルの「伝わるデザイン」を手がける。企画編集・デザインも自身で行った著書『なるほどデザイン 目で見て楽しむデザインの新しい本。』がある。

情報・意見交換の一つとして、皆様の医療機関の広報誌等を、ぜひお持ちください。会場で閲覧できるように展示いたします。